

西尾市地区別防災カルテ

①基本情報

地区No	23
地区名	津平小学校

●地区の概況

市東部に位置し、東西方向に流れる矢崎川に沿って谷底平野が形成され、それを南北から山地・丘陵地が挟んでいる。丘陵地と平野部の境界には段丘や扇状地が分布している。宅地は段丘部に多く、平野部は農地として利用されている。東西に抜ける主要地方道西尾幸田線が幹線道路となっている。

●人口の状況 ※令和2年国勢調査より

世帯数	793 世帯	
65歳未満	1780 人	70.8 %
65歳以上	727 人	28.9 %
合計	2513 人	

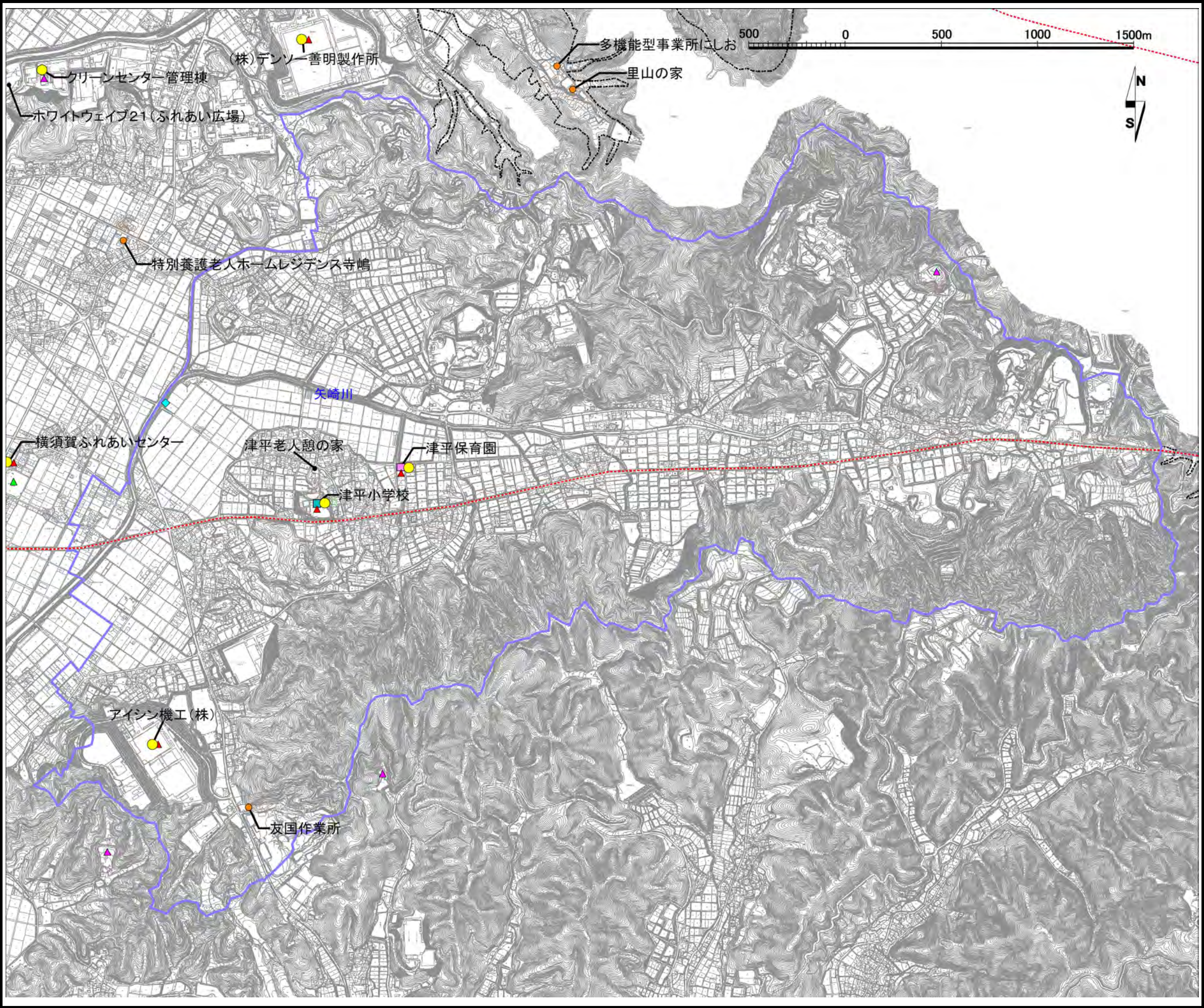
※合計値は年齢不詳の人口も含む

●地区の課題

地区西部の平野部は、洪水及び高潮発生時に浸水するおそれがあり、吉良町友国の北西部では津波が到達するおそれがある。また、丘陵地が多く、土砂災害の危険性が高い。地震時は、地区西端部の平野部で建物倒壊や液状化の危険性が高い。

●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所	■ 学校
● 津波一時待避所	■ 幼稚園・保育園等
● 福祉避難所	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
◎ 市役所・支所等	▲ 水防倉庫
■ 警察署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 消防署等	▲ 防災活動拠点
■ 救急病院	▲ 衛生施設
◆ 水位観測所	● その他の施設
◆ 雨量観測所	
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

②洪水被害・土砂災害

地区No	23
地区名	津平小学校

●地区別大雨等被害の特性

地区西部を流れる矢崎川沿いを中心に浸水が想定される。
地区内に2箇所ある指定避難所のうち、津平保育園の北部は浸水想定区域となっている。
丘陵地の山裾部では急傾斜地崩壊や土石流が発生する危険性がある。

●避難環境評価

避難所収容者数	4524 人
避難者数	2094 人
最長避難距離	約 2.0 km

※避難所収容者数は洪水時のみの人数

●最大浸水深

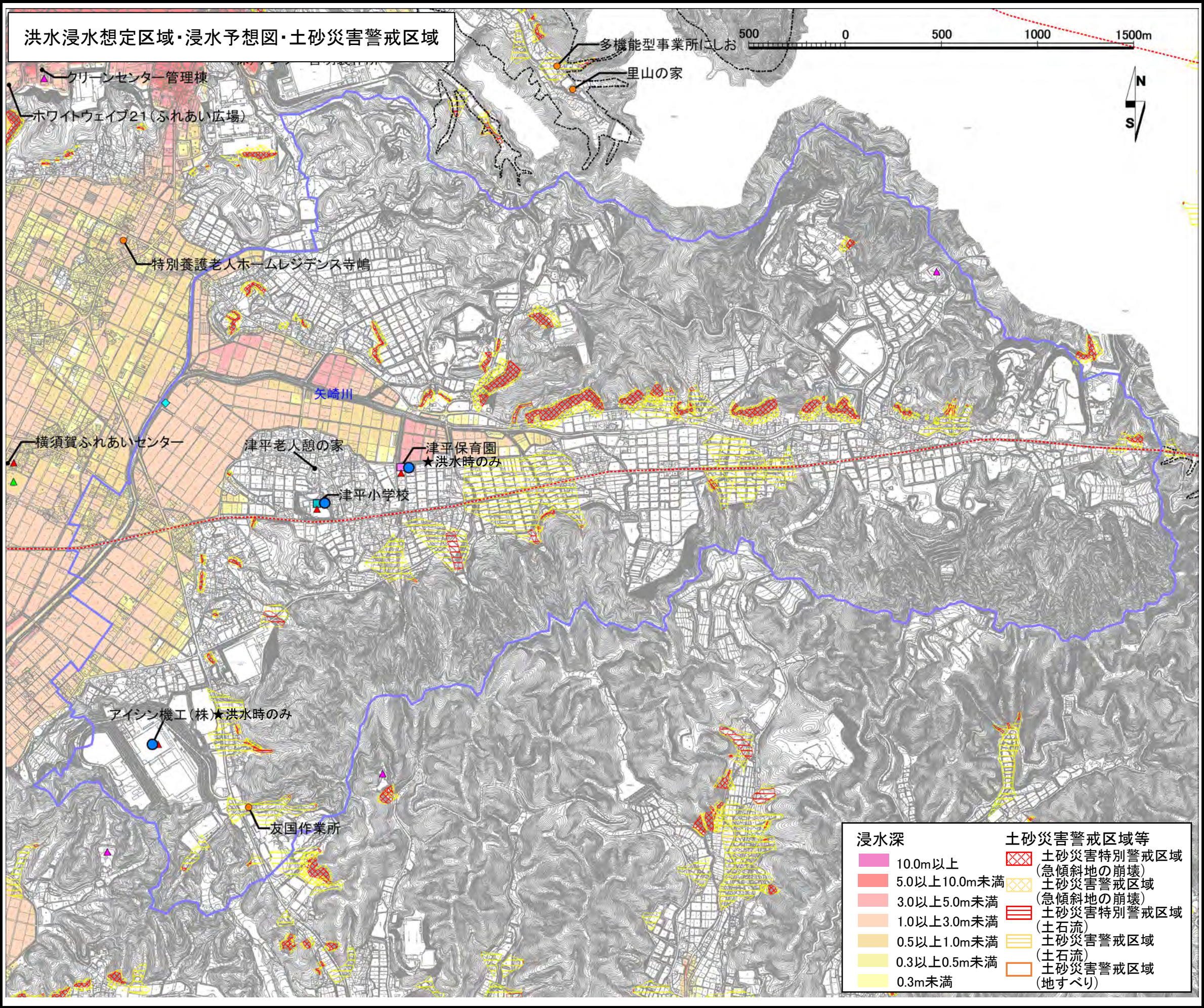
対象全河川(重ね合せ)	3m以上5m未満
矢作川	3m以上5m未満
矢作古川・広田川・須美川・安藤川	1m以上3m未満
朝鮮川	範囲外
矢崎川	3m以上5m未満
北浜川・二の沢川	範囲外
乙川	範囲外
鳥羽川	範囲外
八幡川	範囲外

●土砂災害リスク

土砂災害警戒区域(急傾斜地)	45 箇所
土砂災害特別警戒区域(急傾斜地)	46 箇所
土砂災害警戒区域(土石流)	25 箇所
土砂災害特別警戒区域(土石流)	18 箇所
土砂災害警戒区域(地すべり)	0 箇所

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(洪水・土砂時使用可)	学校
福祉避難所	幼稚園・保育園等
市役所・支所等	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
警察署等	水防倉庫
消防署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
救急病院	防災活動拠点
水位観測所	衛生施設
雨量観測所	その他の施設
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

③地震被害

地区No	23
地区名	津平小学校

●地区別地震被害の特性

過去地震最大モデルでは、震度6強から6弱となる。(下図参照)
西側の平野部で液状化の危険度は極めて高いほか、緊急輸送道路である西尾幸田線は液状化被害を受ける可能性が高い。

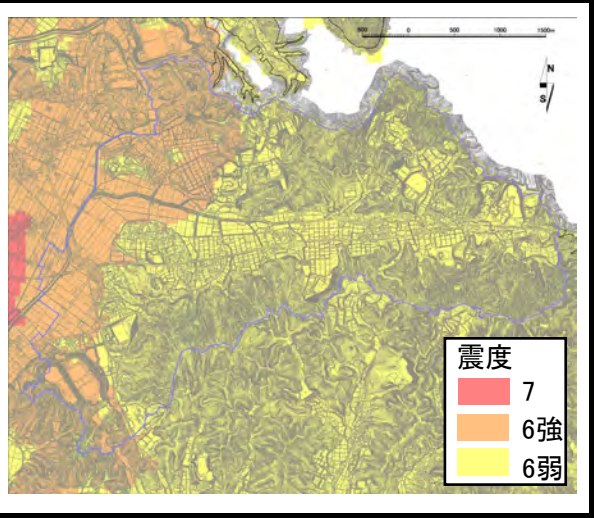
●避難環境評価 ※平成26年地震被害予測調査結果より

避難者数 ※津波による建物倒壊避難者も含む	361 人
--------------------------	-------

●被害想定 ※平成26年地震被害予測調査結果より

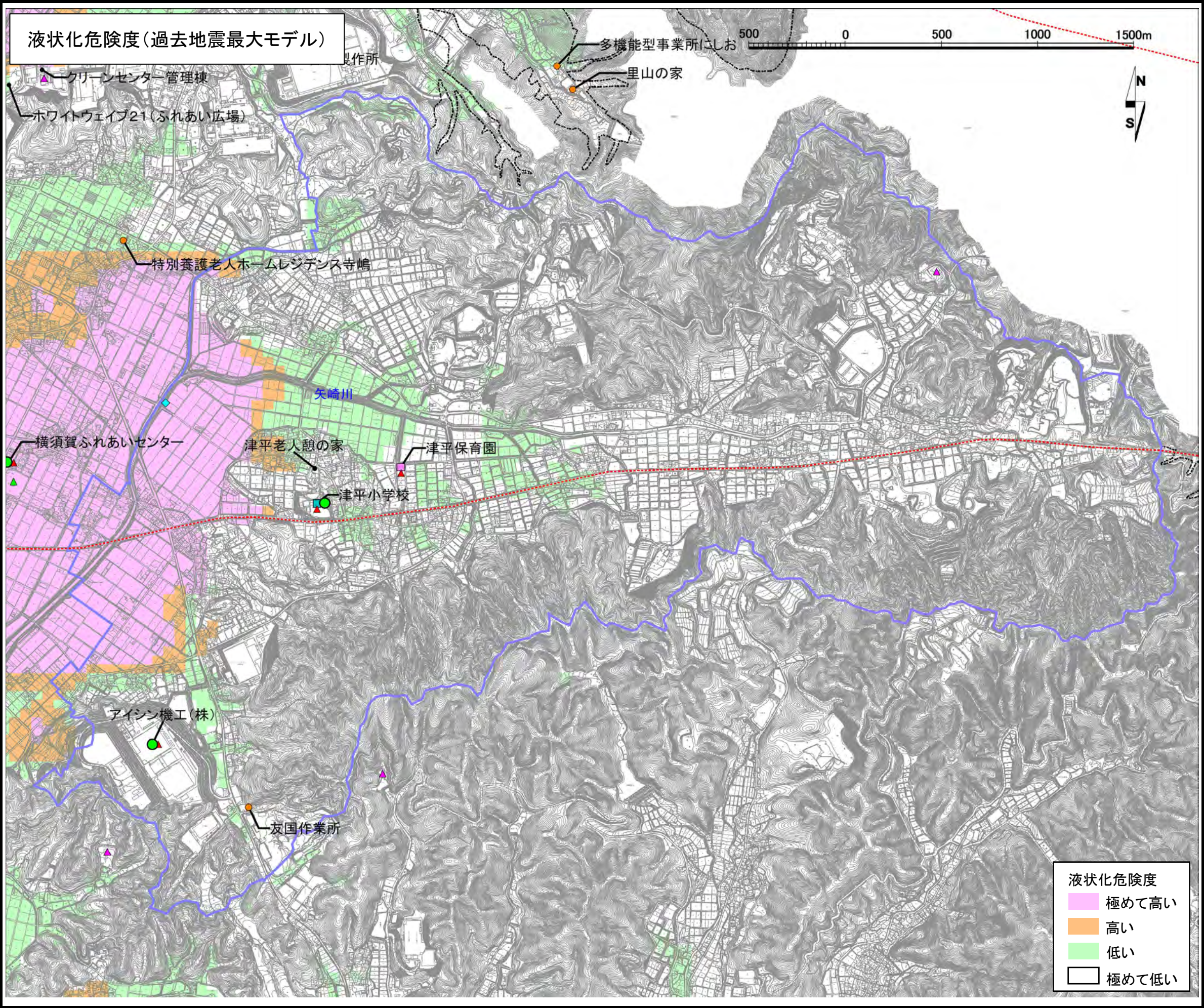
建物全壊数	66 棟
建物半壊数	187 棟
死者数	3 人
重傷者数	6 人

●過去地震最大モデル震度分布図



●凡例

● 指定緊急避難場所・指定避難所（地震時使用可）	■ 学校
● 福祉避難所	■ 幼稚園・保育園等
◎ 市役所・支所等	▲ 防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
■ 警察署等	▲ 水防倉庫
■ 消防署等	▲ 飲料水兼用耐震性貯水槽
■ 救急病院	▲ 防災活動拠点
◆ 水位観測所	▲ 衛生施設
◆ 雨量観測所	● その他の施設
— 小学校区界	- - - 市町村界
— 鉄道	- - - 緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

④津波被害

地区No	23
地区名	津平小学校

●地区別津波被害の特性

海岸から遠く、ほぼ全域が浸水想定区域から外れているが、矢崎川付近では津波の遡上による浸水が見られるため、不用意に近づかないことが重要である。
当地区の避難目標は、アイシン機工(株)、津平小学校、津平保育園である。

●避難環境評価

津波一時待避所収容者数	0 人
避難所収容者数※1	1185 人
避難者数	690 人
津波浸水想定区域外までの距離※2	約 - km

※1津波被害における避難所収容者数は「命を守った後に避難生活を送ること」を想定して算出している。

※2西尾市津波避難計画(令和5年4月修正)に記載された校区のみ記載している。

●津波浸水深

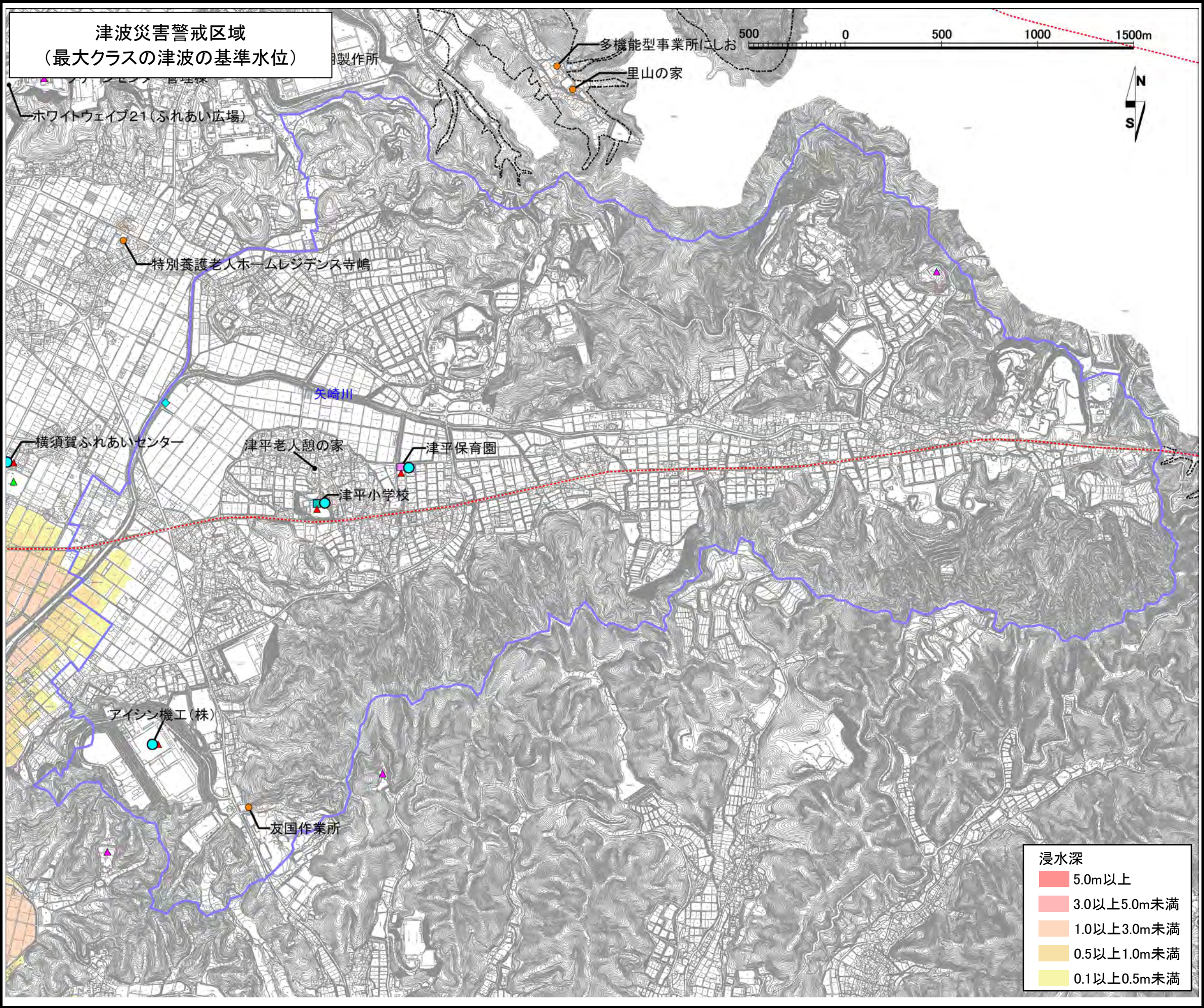
最大クラスの津波の基準水位	
最大津波水位	0.5m以上1m未満
過去地震最大モデル(参考)	
最大津波浸水深	0.3m以上1m未満

●津波発生時の避難先

避難目標:アイシン機工(株)、津平小学校、津平保育園

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所(津波時使用可)	学校
津波一時待避所	幼稚園・保育園等
福祉避難所	防災倉庫・防災資機材庫・その他備蓄倉庫等
市役所・支所等	水防倉庫
警察署等	飲料水兼用耐震性貯水槽
消防署等	防災活動拠点
救急病院	衛生施設
水位観測所	●その他の施設
雨量観測所	
小学校区界	市町村界
鉄道	緊急輸送道路



西尾市地区別防災カルテ

⑤高潮被害

地区No	23
地区名	津平小学校

●地区別高潮被害の特性

地区西部の矢崎川沿いを中心に浸水想定区域があり、主に0.5m以上3m未満の浸水が想定される。
指定避難所である津平小学校や地区内に1箇所ある福祉避難所は、浸水想定区域外に位置する。

●避難環境評価

避難所収容者数	3162 人
避難者数	2094 人
最長避難距離	約 2.0 km

●高潮浸水深

最大高潮浸水深	3m以上5m未満
---------	----------

●凡例

指定緊急避難場所・指定避難所
(高潮時使用可)

福祉避難所

市役所・支所等

警察署等

消防署等

救急病院

水位観測所

雨量観測所

学校

幼稚園・保育園等

防災倉庫・防災資機材庫・
その他備蓄倉庫等

水防倉庫

飲料水兼用耐震性貯水槽

防災活動拠点

衛生施設

その他の施設

小学校区界

鉄道

市町村界

緊急輸送道路

